

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本装置は、以下の各ユニットから構成されます。

標準構成

- 1) 天板部
- 2) 脚部
- 3) 受像部（デジタルカメラ装着部）
- 4) キャスター（オプション）
- 5) 折りたたみ（オプション）



2. 原理

本装置は、汎用 X 線装置を必要とする平面撮影の場合に被検者の撮影部位の位置決めをしたり保持するよう設計されている。数個のベ어링で受像部は長手方向のスライドができる。

【使用目的又は効果】

本装置は、汎用 X 線診断装置用非電動式患者台として平面画像の撮影の際に被検者を保持します。数個のベ어링で受像部の長手方向のスライドができ固定は機械式ロックを採用しています。受像部はデジタルカメラが装着できます。14 インチ、17 インチのサイズ変更はトレイ部を 90 度回転させる。

【使用方法等】

1. 使用方法

受像部にデジタルカメラを装着し、撮影台の受像部を撮影部位に合わせ汎用 X 線装置の X 線管と受像部の中心位置を合わせます。汎用 X 線装置で X 線撮影をします。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 未整備の状態で使用すると、部品の落下や装置の転倒、破損による健康被害や火災発生につながる恐れがあります。

- 2) この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
- 3) 被検者の乗り降りには、十分注意すること。X 線管装置との干渉によるケガや転倒及び手をはさむなどの恐れがあります。
- 4) 耐荷重 135kg を超える荷重をかけないこと。
（耐荷重とは被検者体重、補助具などの附属品等の全ての重量を含むものです。）
天板上で心臓マッサージなどの負荷をかけた場合には、天板が破損するおそれがあります。
- 5) 撮影台を床に引きずった状態で移動しないこと。
脚部パイプのネジが緩み外れる恐れがあります。
- 6) 被検者を天板部に乗せた状態で受像部を移動させる場合は、天板部のアルミフレームの下側より手、指が出ていないことを確認してからスライドをすること。すきまに指をはさむ恐れがあります。
- 7) 天板部の先端に座ったり、立ったりしないこと。
天板が破損します。
- 8) 被検者はなるべく天板部中央に乗るように指示し、天板部上で体位を変える場合は、転倒、落下に注意し、天板部から手、足がはみ出さないように注意すること。
- 9) トレイはデジタルカメラ重量以上の荷重をかけないこと
- 10) デジタルカメラの装着は必ず両手で、手を挟まないよう注意すること。
- 11) トレイの回転は手を挟まないよう注意すること。
- 12) 高齢者、小児等、介助者が必要な場合の検査は介助者を付けること。
- 13) 指定された機器以外の装置を接続した場合、所定の EMC 性能（電磁両立性）を発揮できない恐れがあるので指定機器以外は接続しないこと。

〈妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用〉

妊婦、妊娠の疑いのある者、授乳中の者、及び小児へ使用する場合は医師の指示のもとで慎重に行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

動作保証条件（撮影室内）

温度 10～40℃ 湿度 30～85%RH 気圧 700～1060 hPa
結露しないようにご注意ください。

〈耐用期間〉

10 年〔自己認証（当社データ）による〕

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある）

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検（日常点検）〉

- 1) 目視による点検
 - (1) 外観の確認
装置の外観に異常がないことを確認すること。
 - ・ケーブル、附属品などに損傷や磨耗がないこと。
 - (2) 清浄性の確認
清浄な状態であることを確認すること。
 - ・装置に被検者の体液、血液、汚物及び造影剤等が付着していないこと。
 - (3) 装置周辺の確認
装置の妨げになる物がないこと。
- 2) 機能の確認
 - (1) 装置の正常状態の確認
装置の正常状態・正常動作を確認すること。
 - ・可動部の動作
 - ・装置（附属品含む）の動作
 - ・異音、異臭がないことを確認すること。
 - (2) 装置の固定状態の確認
装置（オプションの患者グリップや附属品含む）の固定を確認すること。
 - (3) 安全機能の確認
所定の安全機能が正常に作動することを確認すること。
 - (4) 故障時の対応
修理が完了するまで装置の使用を禁止するよう指示・表示をしてください。人身事故や火災発生につながる恐れがあります。
 - (5) 洗浄・消毒
 - ・本装置を清掃する際、シンナーやベンジンなどの溶液やコンパウンドなどの研磨剤を含むものを使用しないこと。
 - ・金属やゴムに対して強い腐食性を持つ塩素系消毒剤、または消毒剤の取扱説明書に金属・プラスチック及びゴムの内一つでも使用が不適と注意書きのある消毒液を使用しないこと。
 - ・天板アクリル板は、アルコール消毒後放置すると表面に変化が起きるので必ず柔らかい布で拭きとること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

〈定期交換部品及び消耗品〉

特に設定はしておりません。使用頻度、操作方法、経年劣化による部品交換が発生する場合があります。

- ・受像部トレイスライドレール
- ・受像部固定ストッパ
- ・受像部移動用ベアリング
- ・アクリル天板（被検者の安全面及び撮影に影響がある場合）

〈業者による保守点検〉

1年ごとの定期点検を弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。

項 目	点検時期	点検内容
スライドベアリングの緩み磨耗	1 年	目視、増し締めによる確認
各部重要固定部	1 年	固定ねじの増し締め

詳細は取扱説明書を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：三共医療機株式会社

住所：大阪市平野区加美東 6-14-22

〔販売業者（販売店）〕